

# きのくにコミュニティスクール

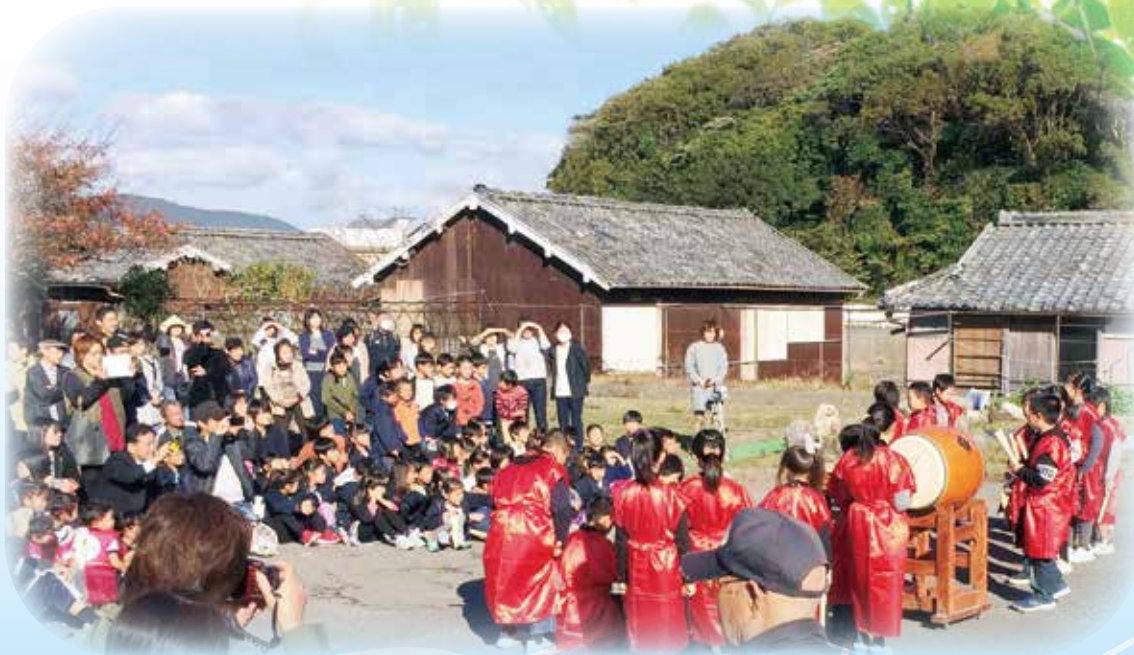
～さらなる ステップアップのために～



みなべ町立高城小学校



和歌山市立八幡台小学校



御坊市立塩屋小学校

きのくにコミュニティスクール推進協議会  
和歌山県教育委員会

令和3年3月

本県では、96.1%の学校がコミュニティ・スクールを導入しています。

それぞれの取組をステップアップさせ、より豊かな子供の育ちをめざしましょう。

## きのくにコミュニティスクール

### ふるさとの未来を託せる子供を育てるために

学校・家庭・地域が目標を共有し、一体となって地域の子供たちを育てていくことは、子供の豊かな育ちを保障するとともに、そこに関わる大人や地域の結びつきを強めることにつながります。多くの人と関わることで子供たちの自己肯定感を高め、「この地域で育ってよかった」と思える心の育成をめざします。

生きる力

自己肯定感

教育活動  
の充実

共通の目標に  
向けた  
連携・協働

生きがい  
やりがい

地域の  
活性化

地域の  
結びつき

学 校

地域・家庭



こんな子供に

### コミュニティ・スクール (学校運営協議会)

<地域住民や保護者等が学校運営に参画>

- 学校運営の基本方針の承認
- 課題解決のための手立ての協議
- 協議内容や取組の公開



地域学校協働活動  
推進員  
(コーディネーター)

こんな地域に



### 共育コミュニティ (地域学校協働活動)

<学校と地域が相互に連携・協働>

- ふるさと学習や授業補助などの協力
- 登下校の見守りやあいさつ運動の実施
- 放課後等の学習支援や体験・交流活動の実施

## 法的根拠 【地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5】 【社会教育法第5条、第6条、第9条】

※**学校運営協議会**：法律に基づき教育委員会に任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営と  
そのために必要な支援について協議する合議制の機関

※**地域学校協働活動**：幅広い地域住民等の参画を得て、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働  
して行う様々な活動

本県のコミュニティ・スクール（全学校種）の導入率（96.1%）と地域学校協働本部の整備率（85.5%）が、ともに全国1位となりました。

※文部科学省 コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査（2020年7月1日現在）による。

# 学校運営協議会の発展・充実のための視点

## ①協議や熟議をとおして、「共通の目標」を確認しあう

【共通の目標】を確認しあうことで、それぞれの役割が明確になり、教育の当事者として責任を持った積極的な活動ができるようになります。

### 活発な話し合いのために

- ・簡単な会議資料
- ・委員の「思い」を出せるテーマ設定
- ・会議内容の整理
- ・学校運営協議会委員による会議の司会 など



※熟議：多くの当事者が「熟慮」と「議論」によって問題の解決を目指す対話のこと

## ②関係する人が「協働」できるようにする

効果的な【協働】のためには、【共通の目標】に向けて、対等の立場で協力することが大切です。

### 【協働の例】

【共通の目標】：子供たちが地域で安全・安心な生活を過ごせるようにしよう

【学校運営協議会長】最近、不審者情報をよく耳にします。私たちができることについて話し合いませんか？

【校長】子供たちには「知らない人についていかない」などの指導をしていますが、それだけでは心配です。

【自治会長】回覧板で自治会の皆さんに不審者情報を知らせ、注意喚起することができます。



学校運営協議会

【地域住民】登下校時や放課後に子供たちにあいさつし、顔の見える関係を作るようにします。近所の人と顔見知りになっておくのも大切な。

【コーディネーター】学校の授業などで防犯教室をしてくれる団体を紹介しやす。

「できることを、できるときに、できる範囲で」

### 学校・家庭・地域が協働するために

- ・学校と地域それぞれの年間計画を確認・整理する「カリキュラム・マネジメント」の実施
- ・学校・家庭・地域が「できること」の確認と実行
- ・得意分野を生かした活動の提案（例：企業の出前授業、消防団による防災訓練等）
- ・学校・家庭・地域への広報の工夫（例：学校だより、ホームページ、回覧板等） など



## ③振り返って次の取組につなげる

### 取組を発展・充実させるために

- ・成功や成果を一緒に喜ぶ
- ・失敗のあとの解決策を一緒に考える
- ・一緒に活動してくれる人を誘う
- ・意義を確認しながらくり返す など



学校運営協議会の発展・充実



「地域とともにある学校」の実現！

# 学校運営協議会の幅広い展開例

学校・地域の在り方や将来のビジョンをみんなで考えましょう。

## 効果的な広報活動

### <橋本市立高野口小学校>

学校ホームページを活用して  
取組の様子を発信中！



学校運営協議会の活動について知ってもらうことで、新たに協力者が見つかったり、アイデアが得られたりします。



高野口小学校ホームページ

<http://www.hashimoto.ed.jp/koyaguchiel/index.html>

## 情報共有の工夫



### <古座川町学校運営協議会>

町内すべての子供たちを  
支える仕組みを実現！

各学校の学校運営協議会委員の皆さんが一堂に集まる機会をもち、それぞれの学校・地域の情報を共有しています。



## 子供たちとの熟議

### <有田市教育委員会>

#### 「地域とつながる有田っ子プロジェクト」

子供と大人が一緒になって  
学校と地域の未来について語り合う！

学校運営協議会委員と児童生徒が熟議を行った一例です。協議内容をもとに、各校で取り組みたいことを発表しました。



有田市教育委員会ホームページ

<https://www.city.arida.lg.jp/kurashi/kosodatekyoiku/kyoiku/1002588.html>

# 学校運営協議会の幅広い展開例

## 中学校との合同会議の実施



### <県立新翔高等学校>

中学校の学校運営協議会委員との意見交換をとおして、高校の魅力をも高めることに成功！

学校運営協議会での熟議の結果、中学校のニーズを反映した学校説明会を実施することができました。



## 校内組織の工夫

### <県立紀伊コスモス支援学校>

外部の専門家とのつながりで  
専門性 UP!

学校運営協議会と校内の組織とを連携させることで、より効果的な生徒の支援につながります。



### 学校運営協議会を核とした「チーム紀伊コスモス支援学校」

学校課題 → 目標やビジョンを共有

スーパーバイザー：和歌山大学教授・地域の企業代表者

#### 学校運営協議会

#### 校内の組織

○研究推進支援部会  
(大学教授・支援センター)

○教務部 実践研究部  
自立活動部 情報教育部 等

○キャリア教育支援部会  
(労働局・企業代表者)

○教務部 実践研究部  
自立活動部 進路指導部 等

○学校安全部会  
(医療福祉センター・臨床心理士)

○学校保健部 体育部  
支援教育部 防災部 等

○地域連携部会  
(小学校長・自治会長・育友会長)

○総務部 各学部主事  
支援教育部 人権教育部 等

## きのくにコミュニティスクール推進協議会

<推進協議会委員> (任期：令和2年9月1日～令和3年8月31日)

**会長** 藤田 直子氏    **委員** 碓井 聖二氏    大谷裕美子氏    加山 千裕氏    小林 賢司氏  
中谷有美子氏    宮本 朋子氏    森 博司氏

### <今期の協議テーマ>

「きのくにコミュニティスクールの発展・充実期をより豊かにするために」



今期のきのくにコミュニティスクール推進協議会では、協議テーマにもとづき、学校運営協議会の組織づくりや地域と学校との効果的な連携の在り方、地域住民や教職員への理解を促す方法等について協議しています。



## 「和歌山県CSマイスター派遣事業」

「きのくにコミュニティスクール」を進めるうえでの助言やサポートを行います。研修会講師として、また、コミュニティ・スクールに係る様々な相談など、市町村教育委員会や各学校のニーズに合わせて、CSマイスターが訪問します。

～ 例えばこんなとき ～

- 学校運営協議会での協議を活発にする方法や、コミュニティ・スクールの進め方などを知りたい
- 教職員への研修会の講師を紹介してほしい
- 困ったことや悩み・相談がある など

## 和歌山県CSマイスター

！ 私たちがサポートします！！



おおaura としかず  
大浦 俊一 氏

かつらぎ町妙寺公民館長  
・ 社会に開かれた教育課程  
（高校と地域の連携）  
・ 学校と公民館の連携



おおたに ゆみこ  
大谷 裕美子 氏

文部科学省CSマイスター  
・ 国の動向  
・ 学校運営協議会と地域学校協働  
活動の一体的推進



しもだ きくえ  
下田 喜久恵 氏

有田市コミュニティ・スクール推進員  
・ 管理職としてのコミュニティ・  
スクール運営  
・ 学校運営協議会の具体的な運営方法



もり ひろし  
森 博司 氏

串本町統括コーディネーター  
・ 地域とともにある学校づくり  
・ 地域学校協働活動の推進

地域や学校の状況により、様々な「きのくにコミュニティスクール」の形があります。



学校運営協議会は「漢方薬」のようなものです。即効性のある結果のみを求めるのではなく、10年、20年先の地域にじわじわと効く、将来を見据えた地道な取組が大切です。



きのくにコミュニティスクールは、「電動自転車」に例えられます。乗っているのは地域の未来を担う子供たちです。

- 後 輪 = 共育コミュニティ（地域学校協働活動）  
→きのくにコミュニティスクール推進の基盤となります。
- 前 輪 = 学校運営協議会 → 全体のバランスをとって進みます。
- ハンドル = 学校長 → ビジョンや課題に向けて方針を調整します。
- バッテリー = 行政 → 前輪・後輪がスムーズに回転できるよう支援します。
- ペダル = 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）  
→ 取組の進み具合を調整します。

きのくにコミュニティスクール推進協議会  
和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課

〒640-8585 和歌山市小松原通一丁目1番地  
TEL：073-441-3721 FAX：073-441-3724  
Mail：e5006001@pref.wakayama.lg.jp

詳しくは…

きのくにコミュニティスクール 検索



QRコードからもアクセスできます



この印刷物は地球環境に優しい  
植物油インキを使用しています。